

The New York Times



他の生徒（犬）から学べることも多くありますし、同じ問題を抱えている飼い主と出会い、共感を覚えることもあるでしょう。ただ、愛犬

てらくちまほ

在米22年。かつては人間の専門家を目指し文化人類学を専攻。2001年からキャリアを変え、子供の頃から「犬の専門家」に転身。地元のアニマル・シェルターでアダプション・カウンセリングやトレーニングに関わり、個人ではDoggie Project (www.doggieproject.com) というビジネスを設立。犬のトレーニングや問題行動解決サービスを提供しつつ、13歳になるピットブル、ジュリエットとニュージャーシーで楽しく生活中。ご意見・ご感想は：info@doggieproject.com

トレーニングにも色々な種類がありますので、一般的なものを簡単に紹介しましょう。
① パピー・キンダーガーデン：子犬たちが、遊びながら社会性や基本的なマナーを学ぶクラス。生後8週間目くらいから参加できます。

トレーニングにも色々な種類がありますので、一般的なものを簡単に紹介しましょう。
② オビエディエンス・クラス：6〜8週間に渡り基本的なコマンド（Sit、Stay、Down、Head付け）などを学びます。

③ アジリティ・クラス：障害物や標的などを利用し、それらを上手くクリアさせることで、犬に刺激を与え、自信をつけさせる訓練。犬と飼い主が共に障害物コースを走るレースの大会もあります。

④ サービス・ドッグ・トレーニング：介護犬、盲導犬、レスキュー犬、護衛犬などサービス・ドッグになるための特別な訓練です。

グルーブとプライベート、どちらが良い？

「グルーブとプライベートのレッスンではどちらがお勧めですか？」と質問されることがありますが、どちらにも利点と欠点があります。料金的には、プライベートは

もちろん割高です。ただし、グルーブでは細かいところまで見てもらえない場合がある一方、プライベートでは、トレーナーの注意を完全に独占できるので、そう考えると料金の違いはさほど気にならないかもしれません。グルーブでは、他の生徒（犬）から学べることも多くありますし、同じ問題を抱えている飼い主と出会い、共感を覚えることもあるでしょう。ただ、愛犬



トレーニング

楽しむことが一番！

トレーニングで大切なのは、一回のクラスで必ず犬に「成功体験」をさせてあげること。それが自信につながり、そこから学ぶ楽しみを覚えます。犬はリーダーである飼い主の一挙一動をずっと見ています。トレーニングは飼い主にとっても、愛犬から尊敬されるリーダーになり、信頼を得る絶好のチャンス。トレーニング中、うろたえたり、感情的になったりすることなく、堂々と落ち着いた態度で導くことで、愛犬はあなたを信頼・尊敬し、「飼い主・愛犬」の位置形成に大変役立ちます。でも、最も重要なのは、愛犬とのトレーニングを楽しむこと。肩間にしわを寄せたり、カツとなつて愛犬を怒鳴ったりしては元も子もありません。笑顔を忘れず、心に余裕を持つて愛犬との訓練を楽しむ。一度、愛犬と学校に通つてみてはいかがでしょう？

次回では、個人的にとっても考えるところのある、老犬との生活とペットロスについてお話ししたいと思います。どうぞお楽しみに！